

○6番（小野志保）（登壇） おはようございます。

立憲民主党、小野志保です。

まず、防災行政について伺います。

本市には、地震災害に対する予防対策及び地震発生時における応急対策の促進を目的とする新居浜市耐震改修促進計画がございます。この計画の中で、既設エレベーターの防災対策として、地震時における閉じ込めや戸開走行事故に対する既設エレベーターの安全確保を図るため、重点的に取り組む区域として市内全域を指定し、建築基準法第2条に規定する特定行政庁は、建築基準法によるエレベーターの定期調査報告の機会等を捉え、現行基準に適合しないエレベーターが設置された建築物の所有者等に対して、事故のリスク等を周知し、安全性の確保を指導するとともに、地震の初期微動を感知して最寄りの階に停止する装置、P波感知型地震時管制運転装置の設置、主要機器の耐震補強措置及び戸開走行保護装置の設置の導入の促進に取り組むとあります。また、実施期間として、令和3年度から令和7年度を重点実施期間としていることから、地震時管制運転装置、戸開走行保護装置等の導入数や進捗状況、またどのような周知啓発を行ってこられたのか、また市庁舎の設置件数等も併せてお教えてください。

資料1を御覧ください。（パネルを示す）

国土交通省発行、エレベーターの戸開走行・地震対策の中にも、義務化、基準の強化が明記されています。

令和4年3月に、国土交通省から公表されたエレベーターの防災対策改修事業の資料によると、最大震度6弱の大阪北部地震でのエレベーター被災状況では、11府県で約6万3,000台が運転休止、うち約2,800台が復旧に3日以上を要し、5府県で346台の閉じ込めがあったとされています。このうち、地震時管制運転装置があったエレベーターは332台、国土交通省は、装置があったとしても、防ぐことができなかった閉じ込めもあったものと推測をしています。閉じ込め救出と復旧については、大半が3時間以内に救出されましたが、復旧に2日以上を要した状況も確認されています。つい先日、2月22日、東京スカイツリーのエレベーターが急停止し、20名の方が閉じ込められ、約5時間半後に救出された報道があったところです。

長時間の閉じ込めは、いつ救助が来るのか分からない不安、そして健康を損なうおそれがあります。その際に、少しでも落ち着いて救助を待つことができるよう、エレベーター用防災キャビネットの導入を提案したいと思います。

資料2の右下を御覧ください。

国土交通省発行のパンフレットにも、防災キャビネットを設置しましょうと明記されています。全国的にも導入する自治体が増えてきています。この防災キャビネットは、非常用の食料や飲料水、ライト、ラジオ、救急用品、ホイッスル、簡易トイレなど防災用品をあらかじめエレベーター内に設置するものです。

資料3を御覧ください。（パネルを示す）

こちらは、エレベーター用防災椅子の写真です。平時は、御高齢の方、妊婦の方、障害がある方にも御利用いただける椅子として、そして

荷物置場としても利用できます。災害時は、ポリ袋や凝固剤、トイレトーパー、消臭剤、ブランケットを取り出し、簡易トイレとして利用できます。ボックスの底に接着マットを貼り付け、固定するため、特別な工事が要らず、衛生的な移動式トイレとしても使用可能です。価格も5万円台から販売されています。まずは、日々多数の市民の方が利用される市役所から設置をしてはいかがでしょうか。非常用救援物資として、また命と尊厳を守るために必要だと考えます。御所見を伺います。

次に、飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助事業について伺います。

2回目となるガバメントクラウドファンディングが実施され、皆様の温かい御支援をいただき、無事目標額100万円を達成いたしましたことに心から感謝し、御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、このガバメントクラウドファンディングですが、手数料は市が負担し、御寄附いただいた全額を補助金として利用させていただくため、今現在、返礼品はございません。新居浜市オリジナルの返礼品があればいいのというお声もよくお聞きしますし、返礼品にすれば喜ばれるのと思う新居浜市内企業の製品もございます。付加価値をつける、もう一つの魅力として、返礼品をお送りするお考えはございませんか。

また、令和8年度について、ガバメントクラウドファンディング実施の御予定はありますか、御所見を伺います。

続いて、補助金額の拡充について伺います。

おとし、令和5年度の実績は77頭、予算額50万円、9月1日に受付終了。昨年、令和6年度の実績は164頭、予算額100万円、11月19日に受付終了。今年度の実績は206頭、予算額127万1,000円、11月4日に受付が終了しております。この補助事業が開始された令和3年度と比べると、手術した猫の頭数は約7倍、また予算額は約1.7倍になっても年度末を待たず、早々に受付終了となっております。

では、地域の飼い主のいない猫は減ったのかという疑問です。猫は減りましたかと愛護団体さんにお聞きしましたら、皆さん減っていないとおっしゃいました。もちろん新居浜中の猫を数えたわけではございませんが、御相談や不妊去勢手術、譲渡会など、活動を通しての言葉だと思えます。私への御相談も一向に減ってはおりません。新居浜市内の動物病院限定から愛媛県内に拡充されたこと、移動式手術室での身近、かつ低価格で手術が可能になったこと、愛護団体さんや市民の方が協力をして定期的に取り組んでくださっていること、また回数を重ねるごとに認知度も上がってきたことなどが考えられる一方で、早々に受付が終了してしまう。市はこの現状をどうお考えでしょうか。新居浜市のホームページには、飼い主のいない猫の望まない繁殖を防ぎ、良好な生活環境を保持することを目的と明記されておりますし、不妊去勢手術をしていない猫が1匹いた場合、環境省発行のパンフレットには、1年後には20匹以上、2年後には80匹以上、3年後には何と2,000匹以上に増えるとされております。補助金は、猫の繁殖率の高さに全く追いついていないものと感じます。手術をするのであれ

ば、一斉に取りかかるべきであると考えます。

ふん尿、異臭、鳴き声、庭や畑を荒らされる、車に足跡や傷がつくなどの猫から人への被害と放置や遺棄、殺傷、適正飼育がなされないという人から猫への被害、そのほかにも猫が原因となった人と人との争いの御相談が私の下にもやってまいります。同じ地域に住む方々でいさかいが起こらぬよう、また保護しなくてはいけない猫を減らせますよう、蛇口の元栓を閉めるさらなる取組が必要ではないでしょうか。

先ほどのガバメントクラウドファンディングが実施される前年の令和5年度には、一般財源で、市から補助の予算額は50万円でした。現在は、ガバメントクラウドファンディングのみとなっております。もちろん予算というのは、無限でないことは承知の上ですが、11月終了というのであれば、あとせめて三、四か月、年明け春先の繁殖期、2月ぐらまでの予算の拡充ができないでしょうか、御所見を伺います。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 小野志保議員さんの御質問にお答えいたします。

防災行政についてのうち、エレベーター用防災キャビネットの導入についてでございます。

エレベーター用防災キャビネットは、エレベーターが停止した場合に、閉じ込められた方が健康状態を損なうことなく、救出までの間の安心を確保するために有効なものでございます。

市庁舎は、多くの市民が利用する場所であり、どなたにとっても安心して安全な場所でなければなりません。そのため、まずは市庁舎エレベーターへの防災キャビネットの設置につきまして、仕様や経費などを調査し、実施に向けた検討を進めてまいります。

以上申し上げましたが、他の点につきましては関係理事者からお答えさせていただきます。

○議長（田窪秀道） 高橋建設部長。

○建設部長（高橋宣行）（登壇） 防災行政についてのうち、耐震エレベーターについてお答えいたします。

新居浜市内で稼働中のエレベーターの総数は457基でございます。地震時管制運転装置が設置対象となるエレベーターは340基で、そのうち114基に設置済みでございます。また、戸開走行保護装置が設置対象となるエレベーターは457基で、そのうち143基に設置済みでございます。

次に、周知啓発方法につきましては、昇降機検査報告窓口である中国四国ブロック昇降機検査協議会を通じて、各保守点検業者へ毎月広報を配信するほか、実務者講習会や窓口での啓発リーフレット等を配布しております。

これらの取組により、保守点検業者から建築物の所有者に対し、安全意識の向上を働きかけてきたところでございます。

次に、市庁舎の設置件数につきましては、本庁舎に3基、防災合同庁舎に2基、旧消防庁舎に1基、合わせて6基のエレベーターが設置されており、旧消防庁舎の1基以外には、地震時管制運転装置及び戸開走行保護装置が設置されております。

○議長（田窪秀道） 近藤市民環境部環境エネルギー局長。

○市民環境部環境エネルギー局長（近藤淳司）（登壇） 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助事業についてお答えいたします。

まず、ガバメントクラウドファンディングについてでございます。

本市のガバメントクラウドファンディングでは、寄附者の半数以上が市民の方であり、制度上、返礼品を受け取ることができないため、本事業趣旨及び公平性の観点から、返礼品の設定は行っておりません。

一方で、新居浜市らしい返礼品があればよいのにといった御意見や市内企業の製品を返礼品として活用できるのではないかという御提案も承知いたしておりますので、返礼品の導入につきましては、ガバメントクラウドファンディングを継続する上での貴重な御提案として検討を進めてまいります。

また、令和8年度におけるガバメントクラウドファンディングにつきましては、引き続き皆様の御理解と御協力をいただきながら実施したいと考えております。

次に、補助金額の拡充についてでございます。

本事業は、令和3年度の開始以来、市民や愛護団体の皆様の御理解、御協力により、年々補助頭数が増加しております。

しかしながら、猫の繁殖力は非常に高く、短期間で増加することから、不妊去勢手術に取り組む地域の皆様の活動を支援できるよう、本事業を継続的に運用していくことが重要であると認識しております。

1年を通じて本事業を実施するために必要な財源確保に向け、ガバメントクラウドファンディングにおける寄附額の増加を図るために、窓口や郵便振替による受付方法の拡充や返礼品の導入など、寄附しやすい仕組みづくりを検討してまいります。

以上で答弁を終わります。

○議長（田窪秀道） 再質問はありますか。小野志保議員。

○6番（小野志保）（登壇） 2点お願いいたします。

耐震エレベーターについて、市民の方が多く訪れるワクリエ新居浜、あかがねミュージアム、総合福祉センターなどの状況はいかがでしょうか。

2点目、クラウドファンディングの返礼品と予算の拡充なんですけれども、今検討していくという御回答をいただきました。その結果は、いつ頃お示しいただけますでしょうか、お願いいたします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。高橋建設部長。

○建設部長（高橋宣行）（登壇） 小野志保議員さんの再質問にお答えいたします。

総合福祉センター、あかがねミュージアム、ワクリエ新居浜に対する地震時管制運転装置や戸開走行保護装置の設置の状況についてということでございますが、各施設の設置の状況につきましては、総合福祉センターに2基、あかがねミュージアムに2基、ワクリエ新居浜に1基、合わせて5基のエレベーターがございまして、その全てにおいて地震時管制運転装置、戸開走行保護装置が設置されております。

○議長（田窪秀道） 近藤市民環境部環境エネルギー局長。

○市民環境部環境エネルギー局長（近藤淳司）（登壇） 小野志保議

員さんの再質問にお答えいたします。

検討結果の時期はいつ頃かとの御質問かと思えます。

ふるさと納税の担当部局とも協議をいたしまして、窓口での受付ですとか、郵便振替の受付など、令和8年度から導入可能なものにつきましては実施したいと考えております。

○議長（田窪秀道） 再質問はありませんか。小野志保議員。

○6番（小野志保）（登壇） 防災キャビネット、またクラウドファンディングについて、前向きな御検討、また御回答を本当にありがとうございます。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。